

from NEW YORK from NEW YORK from NEW YORK
マッシー川口の

from New York

ミステリー事件もインターネットの巻

Hello ! How are you ? Good to CU again !! 最近アメリカ国内にテレビの取材によく行くようになって、この2週間にもナッシュビル~コロラド~ナッシュビルと、プロデューサー&テレビクルーと一緒にマイクとメモを片手に出動した。今回の取材はベリヘビーで、「元ミス・リトルコロラド、誘拐殺人事件」と「女性刑務所潜入+刑務所一泊ツアー体験レポート」という過激な内容。刑務所の方はまたの機会にね。

ところでこの誘拐殺人事件は日本でもメディアで報道され、多くの人々の関心の的になったからご存じの方もいると思うけど、ミス美少女コンテストに優勝するようなメチャクチャ可愛いジョンベネちゃん(6歳)が無惨にも子供にとって一番幸せなはずのクリスマスの夜、眠りについたその後で、何者かによって性的暴行を受け、殺されるという悲惨な悲劇だったの。

取材してても、重くてつらい気持ち。一体、誰がなぜ? ご両親が朝、家で脅迫状を見つけて誘拐事件かと思いきや犯人は身代金を要求したにもかかわらず姿をみせず、なんとその8時間後に自宅で父親のジョンさんが自ら、地下室のツリーのところで彼女の小さな遺体を発見。しかも外から誰も侵入した形跡はナシ。また事件当日の警察の対応にも問題があったようで、つぎからつぎへと謎が謎を呼び、いまやOJシン普森以来のアガサ・クリスティーばりのミステリーとして全美でも注目されている。ついさっきも夜のテレビの時間帯のワイドの「ハードコピー」で流れてたワ。いまのところ容疑者などについての警察の正式発表は一切なくて、メディアからしても捜査状況がよく見えず、大衆紙等は憶測まじりの報道合戦が続いていて、父親のジョンさんをはじめ、家族を疑う人も出る始末。

ところで業界で「立ちレポ」といわれる、事件の内容や状況をカメラのまえに立ってリポートするコメントの原稿は自分で作るわけだけど、事前に内容を把握するためにインターネットは絶対に必

関連 URL  はこちら.....
 ボルダー警察 <http://bcn.boulder.co.us/boulder/pressrelease/>
 ボルダーニュース <http://www.bouldernews.com/BoulderNews/Ramsey/>
 デンバーポスト紙 <http://denverpost.com/>
 ロッキーマウンテンニュース紙 <http://www.denver-rmn.com/storindex/ramsey.htm>
 ボルダープラネット <http://www.ramseymurder.com/>
 コロラドデイリー紙 <http://bcn.boulder.co.us/media/colodaily/>

illustrator : Satoko Kido



かわくちまさよ
川口雅代

ニューヨーク在住のプロドキャスター。他にコナミの人気ゲーム「ときめきメモリアル」の片桐彩子役(声優)をはじめ、現在、関東地方のベイFMで「ニューヨークレポート」(毎週金曜日午前8時すぎ、隔週月曜日午前11時すぎ)に出演中。



需品ね。今回取材した地元の新聞社などのホームページのバックナンバーを読みあさって、事件の新事実を求めて何十万も何千万も出てくるサイトの中からリサーチしていく。時間かかるよね。

「DAILY CAMERA」という新聞社では、ジョンベネちゃんの事件後、発行部数3万5千部が600部増加したうえに、ホームページへのアクセス数も8万人から70万人に10倍近くに一気に増えたそう。しかも全米だけでなく、世界中からの問い合わせがあるという。うむ。この事件の専門ページを作った新聞社もあるし、驚いたことにジョンベネちゃんのご両親もホームページを開設。米では情報発信の手段として日常レベルで実用的にネットが使われている。

ボルダーにまる2日間滞在してあちこち取材したなかで、捜査上の問題でtight-lippedで口を堅く閉ざしている警察に対して記者会見でいきさがるスポークスマンもいたけど、警察の広報担当官は一言「新しい情報は、ボルダー警察のホームページにアップグレードしてありますので、そちらを見てください。いまの時点では、我々はこの事件に関して何もお話しできません」。問いつめる

リポーター達に「ノーコメント... I don't wanna talk about it」の一点張り。こんなところにも、堂々とインターネットのURL登場! アメリカでは、いまやもう当たりまえのことだけど、日本ではまだ公式な情報ソースの一環として、記者会見でURLを言ったりするのはないよね。近い将来そうなると思うけど。

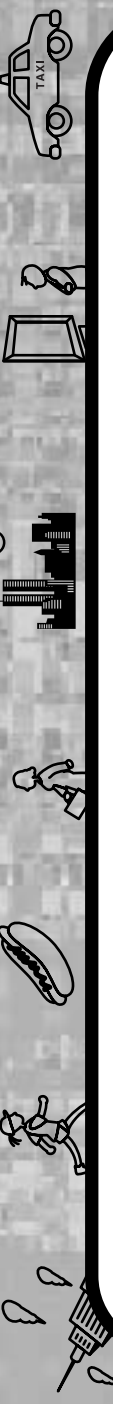
この事件では、父親はすこぶるサイバーガイズで地元のGraphic access という、コンピュータ会社を経営。家族が大金持ちだったことに加えて、母親のパツィーは元ミス・ウエストバージニアの美人妻。野次馬根性を刺激するよね。さらにご存じジョンベネちゃんは、とても6歳の子供とは思えない美しさ&セクシーさが備わってるし。さっさも「HARD COPY」(CBS)と「ET」(NBC)でも、オンエアしてたね。

今日は私の寒い顔して必死にしゃべってる現地リポートのあとで、テレ朝の生放送のスタジオから電話リポートもあるので、すでにパソコンのまえにこれ6時間もいるゾ~。プリントアウトしたペーパーも50枚を超えてる。ヒエ~! さ、もうひとがんばりだ~~。事件の解決を一日も早く望んでいるわ。それじゃ、またねー。Have a good day !!

Now On Air!!

このコーナーのスペシャル番組がリアルオーディオで聞ける! いますぐアクセス!!

URL <http://www.impress-radio.com/>
マッシー川口さんからのNew Yorkのお土産プレゼントもあります!





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp